

ナガエルノゲイトウ対策GIS研修の実施 (2026年1月15日：県加古川総合庁舎)

ナガエルノゲイトウの防除を計画的に進めるため、要対策箇所（発生箇所）と対策済箇所の位置等の情報を地図（GIS）に記録し、蓄積するとともに、その地図を関係者で共有するようにしたい。職員が自らGISを操作できるようになる必要があることから、専門家を招いて研修を行った。

【日時】2026年1月15日（木）13:30～16:30

【場所】兵庫県加古川総合庁舎 2階 会議室A

【講師】兵庫県立人と自然の博物館 三橋 弘宗 主任研究員

【参加者】・兵庫県特定外来生物対策本部東播磨地域部会
ナガエルノゲイトウ対策チームメンバー（県職員）
・兵庫県環境部自然環境鳥獣共生課職員 計11名

【内容】

1) GISに関する基本的事項の講義

・GISの仕組み 　・GISを活用することの利点 　・位置情報をどう表現するか 等

2) GISの基本的な操作方法の実習

※各自のPCに事前にインストールした「QGIS」というソフトウェアを実際に操作

・日本地図の白地図をダウンロードして表示する方法

・WEB上の様々な地図を表示する方法（XYZタイル）

・自分で採ったデータを地図上に入力する方法 　・データの管理方法 等

【主な成果】

・誰でも無料で使えるQGISが世界中の専門家の技術の結晶であることを学べた。

・QGISで扱える無料の地図やデータがWEB上に無数に存在することを学べた。

・特定外来生物対策に有効なGISが職員自ら操作できるものであることを学べた。
(早速年度内からQGISを用いて要対策箇所と対策済箇所の管理を行う予定)

・閉会後も講師を囲んで意見交換が行われ、GISが様々な施策に使えることを学べた。

